

## 人道の港クルーズ出港！ ～敦賀ーウラジオストク定期航路開設110周年記念クルーズ～

平成24年7月25日(水)、敦賀港の金ヶ崎岸壁において、敦賀ーロシア・ウラジオストク定期航路開設110周年を記念した「人道の港クルーズ」が出港しました。

客船前で行われた出港式では、冒頭に河瀬敦賀市長が「港の元気は、敦賀の元気。人道の港を全国に発信していきたい」と挨拶があり、続いて敦賀市議会の堂前一幸議長、日本クルーズ客船(株)の入谷泰生代表取締役社長、更に、故杉原千畝氏の義理の娘にあたる杉原美智さんから挨拶がありました。

出港時には、子供たちが踊りを披露した後、紙テープが投げられ市民のお見送りを受けてウラジオストクに向けて出港していきました。なお、出港した豪華客船「ぱしふいっくびいなす」には、河瀬一治市長ら432人が乗船し、29日の帰港まで4泊5日のクルーズとなっています。

### <杉原千畝氏とは>

第二次世界大戦中に元リトアニア領事代理であり、ナチスの迫害を免れるため、人道的見地より大量のビザ（命のビザ）を発給し、ユダヤ人難民約6千人を救った。

### <人道の港とは>

敦賀港は、杉原千畝氏の「命のビザ」を持ったユダヤ人難民がシベリア鉄道を経由し、上陸した日本で唯一の港です。

市民は彼らにりんごなどの果物を無償で提供したり、銭湯を無料で開放するなど、当時の心温まるエピソードが残されており、近年、人道の港 敦賀として注目を集めています。



客船「ぱしふいっくびいなす」金ヶ崎岸壁接岸



河瀬敦賀市長の挨拶



杉原美智さんの挨拶



出港を祝う子供たちの踊り



市民のお見送り